

**平成27年度 当初予算案**

**平成26年度 2月補正予算案**

**14か月予算案の概要**



**京 都 府**



# 予算編成の基本方針

## 安心で元気な京力予算

平成27年度当初予算は、災害からの安心・安全の確保、地域経済の活性化、京都の未来への創生に向け、国・市町村・民間など京都の力を結集して14か月予算で3つの柱に重点投資

### (1) 重点分野

#### ① 緊急防災対策

3年連続で災害救助法適用となる大規模災害の発生を踏まえ、「連年災害対策」に集中投資

#### ② 緊急経済対策

国の経済対策を活用した地域消費の刺激・生活支援策に加え、「海の京都博(仮称)」「琳派400年記念祭」など、地域経済を活性化させる積極的な取組を展開

#### ③ 「未来への創生」

京都の未来への創生に向け、地方創生の目的である少子化対策や人・仕事・地域づくりに向け、従来の枠組みや発想を超え「京都ならではの」施策を大胆に展開

### (2) 新「明日の京都」の展開

「明日の京都」10年計画の中盤を迎え、中期計画・地域振興計画に基づき、新「明日の京都」として新たな進展と展開を図る



# 予算体系（14か月予算）

## 緊急防災対策

- ▶ 連年の集中豪雨を踏まえた安心・安全づくりの緊急特別対策

## 緊急経済対策

- ▶ 地域消費刺激・生活支援
- ▶ 「海の京都博(仮称)」の開催
- ▶ 琳派400年記念祭の開催 等

## 「未来創生」

### 少子化対策

### 人・仕事づくり

### 地域づくり

### 活力づくり

- ▶ 第3子以降の保育料無償化、子育て医療費助成を中学生まで拡大
- ▶ 正規雇用3万人に向けた早期インターンシップ制度の創設
- ▶ 「3つの京都」の推進
- ▶ 京都版「小さな拠点＝地域創造拠点」の創設
- ▶ エコノミック・ガーデニングのパワーアップ
- ▶ きょうと未病改善センター(仮称)の創設
- ▶ 商店街創生センター(仮称)の創設
- ▶ 農業フロンティア事業の展開

## 新「明日の京都」

- ▶ 地震・防災対策
- ▶ 高齢者の介護・医療特別強化対策
- ▶ 子どもの貧困対策
- ▶ 女性の輝き支援
- ▶ 障害者の雇用と社会参加
- ▶ 「エネルギー自給の京都」 等



# 予算案の規模 (14か月予算)

平成26年度2月補正予算

8,894 百万円台

平成27年度当初予算

963,067 百万円台

(対前年6月補正後 104.8%)

(地財101.8%)

※ 水準超除く

合計

971,961 百万円台

(14か月予算)

※ 消費税市町村交付金等を除くと地財とほぼ同率

昨年度も国の経済対策を踏まえ

14か月予算を編成

= 922,494 百万円台

14か月予算対前年比 105.4%

# 緊急防災対策



# 緊急防災対策（連年災緊急対策事業）

## 連年災害を踏まえ 64 億円規模の特別対策

### 新 連年災緊急対策事業費

約200億円規模

#### ● 福知山市域特別治水等対策事業費

⑳当初 998百万円

- 本格的な貯める対策を国・府・市3者協働により実施（～H31）  
（府）弘法川、法川の河道拡幅等（国・市）排水機場、下水道施設の増強
- 今年の8月豪雨を踏まえた治山対策の実施

#### ● 由良川関連緊急治水対策事業費

㉑当初 2,130百万円

- 国の直轄緊急治水対策と連動した府管理河川の改修等  
由良川直轄事業：輪中堤の整備や宅地嵩上げ等  
府管理河川：相長川、宮川、八戸地川等の河川改修

#### ● 桂川関連緊急治水対策事業費

㉒当初 1,610百万円

- 国の直轄緊急治水対策と連動した府管理河川の改修等  
桂川直轄事業：河道掘削・堆積土砂の撤去等  
府管理河川：桂川、園部川、本梅川等の河川改修



# 緊急防災対策（連年災緊急対策事業）

## ● 南部地域緊急治水対策事業費

⑳当初 1,410百万円

- 平成24年南部豪雨・平成25年台風18号により被災した府管理河川を重点的に整備  
古川床上浸水緊急対策、天井川の護岸補強等（青谷川等）を実施  
鴨川広域河川改修を実施

## ● 防災情報共有化対策費

㉑当初 211百万円

### → マルチハザード情報提供システムの整備

浸水や土砂災害など様々なハザード情報をGISで表示するシステムの構築

京都府 = 関連する複数のハザード情報を一元的に提供

市町村 = 地域ごとのハザードマップの作成等に活用

府 民 = 地域における様々な災害発生危険リスクを把握

### → 的確な避難体制整備のための情報提供を強化

水位周知河川の追加指定（25 → 33河川）等

# 緊急経済対策





# 緊急経済対策

～地域消費刺激と生活支援～

## 大規模な消費刺激で地域経済を強力に応援

### 新 消費刺激・生活支援事業費

②62月 1,456百万円

- 地域における消費刺激の取組を支援し、地域経済を元気づけ、生活を支援する  
(事業想定)
  - ▶ 商店街商品券
  - ▶ 京野菜の販売促進
  - ▶ 観光誘客の促進
  - ▶ 高齢者の生活支援
  - ▶ 京もの伝統製品の割引販売 等

### 「京もの祭」開催事業費

②62月 52百万円

- 物産展の開催で商工業、農林水産業を元気づける

	地域産品等の物産展	京野菜等の物産展
時期	平成27年4月～12月	平成27年4月～11月
場所	北部地域・南部地域（5回程度）	北部地域・南部地域（6回程度）



# 緊急経済対策

## ～海の京都博(仮称)の開催～

### これまでの取組成果を活かし大交流1千万人を創出

**新** 「海の京都博(仮称)」開催事業費

262月 100百万円

H27年度が  
ターゲットイヤー

オープニング  
セレモニー

海の京都博(仮称)オープニングセレモニー



メイン  
イベント

海のスペクタクルショー

→ 日本最大のウォータースクリーンによるプロジェクションマッピング

7市町のコアイベント等

→ 7市町でそれぞれの特色を活かしたイベントを開催  
例：まいづるまち博、天橋立まち灯り(仮称) 他

→ 周遊企画切符の発行による誘客促進  
スタンプラリーの実施

開催期間中  
の取組み



テイクオフ  
イベント

「海の京都」ミュージックフェスティバル

→ 「海の京都」を強烈に印象付けるプレミアムイベント





# 琳派400年記念祭事業

## 京都を琳派一色に盛り上げる事業をオール京都体制で展開

㉗当初 156百万円 ㉘2月 60百万円

### プロローグ

メインイベントに  
向けた気運の醸成

- ・「植物園de琳派」モダンアートプロジェクト(仮称)(植物園)
- ・現代作家200人による日本画・工芸展(京都文化博物館)
- ・ミラノ博覧会への琳派商品の出展(イタリア・ミラノ)等

### メインイベント

京都の秋を彩る  
文化・伝統産業  
イベントの展開

#### < 文化イベント >

- ・京都国立博物館特別展覧会「琳派 京を彩る」(京都国立博物館)【国】
- ・古典の日フォーラム・琳派400年交流祝典(京都国際会館)等

#### < 伝統産業イベント >

- ・「大琳派祭」伝統産業フェスティバル
  - 市内ホテル等での伝統工芸品の販売会
  - 商店街での「琳派400年記念」販売促進
  - プロジェクションマッピングイベント
  - 有名デザイナーによる琳派ファッションショー
- ・京都知恵産業フェア2015(仮称)等

### エピローグ

次の100年に向けて  
新しい琳派の創造

- ・若手選抜作家「現代の琳派」新鋭展(京都文化博物館)
- ・琳派記念展覧会(京都市美術館)【京都市】
- ・現代作家200人による日本画・工芸展(東京・高島屋日本橋店)等

**(未来創生)**

# **少 子 化 对 策**



# 少子化対策総合戦略事業

## 3本柱で推進する主な施策

### 多子世帯の支援

- 新** ● 第3子以降保育料無償化事業費 ⑳2月 800百万円  
→ 第3子以降の幼稚園・保育所の保育料を無償化

全国初

### 子育て医療費の支援

- 拡** ● 京都子育て支援医療助成費 ㉑当初 1,941百万円  
→ 対象年齢を小学校卒業までから中学校卒業まで拡大

全国トップクラス

### 出会い・結婚への支援

～H30年度までに1,000組の成婚を目指す～

- 新** ● 「きょうと婚活総合支援センター(仮称)」事業費 ㉒2月 56百万円  
→ センター機能：① 婚活に関する総合相談窓口  
② 婚活マスター、各種婚活イベント等の紹介  
③ 各種婚活に関するセミナーの開催

センター開設

**(未来創生)**

**人・仕事づくり対策**



# 正規雇用3万人実現事業

## 堅調な有効求人倍率を受け中小企業の人材確保に雇用政策をシフト

### 中小企業人材確保支援事業費

#### ① 新 大学生キャリア形成・就職支援事業費

②⑦当初 44百万円

大学生  
500人規模

- 府内大学1回生からの早期インターンシップ制度を創設（500名程度）  
＝ 早い段階から府内企業への就職を意識付ける

#### ① 新 京都企業人材確保事業費

②⑦当初 14百万円

- 人材不足の生じている企業が賃金等を負担するインターンシップの取組を支援

#### ① 新 正規雇用化促進のための金利優遇制度

（府市協調）

- 府制度融資に非正規雇用者1名以上を正規雇用化した場合の優遇金利を設定（▲0.2%）

**(未来創生)**

# **地域づくり対策**





# 「森の京都」「お茶の京都」づくり

## 森の京都、お茶の京都の戦略拠点づくりを加速

### 「森の京都」づくり事業費

**新** 成長型林業推進事業費 (27)当初 716百万円 (26)2月 467百万円

→ 丹波広域基幹林道を活かした路網整備、大型加工施設の誘致促進

**新** 「森の京都」里山文化発信事業費 (26)2月 10百万円

→ 由良川・桂川上中流域の新規国定公園指定記念イベントの開催、モニュメントの設置

**新** 「森の京都」戦略拠点等整備促進費 (26)2月 9百万円

→ 「森の京都ビジターセンター構想」など専門家による事業計画の策定

H28年度を  
ターゲットイヤーに

### 「お茶の京都」づくり事業費

**新** 宇治茶生産景観継承支援事業費 (27)当初 19百万円

→ 美しい茶畑景観を守るため「山なり茶園」の整備等を支援

**新** 「お茶の京都」戦略拠点等整備促進費 (26)2月 9百万円

→ 「お茶の駅」整備構想など専門家による事業計画の策定

**新** 茶業研究所機能強化整備事業費 (27)当初 42百万円

→ 茶業研究所をリニューアルし大学・企業との連携機能を強化

H29年度を  
ターゲットイヤーに



# 地域活力創生事業

## 京都府版「小さな拠点＝地域創造拠点」で地域活力を創生

### 新 地域創造拠点整備事業費

#### 【地域創造拠点とは】

→ 生活機能が分散した中山間地域やにぎわいを失った商店街等において、地域ニーズを踏まえ、民間を含む日常生活に必要なサービスの提供や地域活性化に取り組むための核となる拠点

- ① 総合型（旧役場支所の活用 等）
- ② 活力再生型（商店街の空き店舗の活用 等）

#### 地域創造拠点整備支援交付金

②62月 100百万円

→ 市町村が地域ニーズに応じて設置する拠点に対するハード・ソフトの支援(補助率1/2)

#### 地域創造拠点戦略展開費

②62月 16百万円

→ 移住、生活・交通ネットワーク構築など拠点の機能充実に対する府事業の実施

#### 地域創造拠点連携推進会議設置費

②62月 4百万円

→ 各広域振興局単位に市町村との連携推進会議を設置

**(未来創生)**

**活力づくり対策**



# 京都版エコノミック・ガーデニング事業

## 育成支援の成果＋販路開拓・生産拡大＝戦略的セカンドステージへ

### 新 エコノミック・ガーデニング推進センター(仮称)設置費

⑳当初 5百万円

→ 育成支援の結果生まれた製品等の販路開拓・生産拡大を戦略的に支援するため、府・商工関係団体・京都産業21で「エコノミック・ガーデニング推進センター」(仮称)を創設

- (機能)
- ① これまで蓄積してきた育成支援データの分析・活用
  - ② 販路先等とのマッチング機会の提供など販路開拓支援
  - ③ 「福祉・健康・医療部会」「伝統産業部会」等の設置

中小企業の育成に  
PDCAサイクルを確立

販路開拓や設備投資は、  
エコノミック・ガーデニング  
支援強化事業費で支援

10億円  
規模

(金融支援)

制度融資  
の利率を  
引き下げ

### 新 福祉・健康・医療分野連携型販路拡大支援事業費

㉑当初 235百万円

→ 福祉・健康・医療分野で、府が支援し表彰等を行った製品の販路開拓や生産拡大を戦略的に支援

- (支援策)
- ① 社会福祉施設等での導入促進支援制度の創設 (補助率1/2)
  - ② チャレンジバイ制度による庁内優先活用 (府庁での率先購入)
  - ③ 生産拡大のための設備投資を支援

すぐれたアイデアをビジネスとして確立

1.8%

↓  
1.2%



# 未病改善につながる健康産業の創出と地域の健康課題の解決

## 新 きょうと未病改善センター(仮称)事業費

⑳当初 142百万円

- 未病 = 健康と病気の間を連続的に変化する心身の過程を表す概念  
(病気の手前の状態)

### きょうと未病改善センター(仮称)

(センター支所)

地域産業育成産学公連携推進拠点(仮称)

- ▶ 経年的健康データ等を整備し、地域の健康課題を抽出
- ▶ 府民に未病改善情報や取組事例を紹介
- ▶ 市町村、保健所等の未病改善にかかるニーズを把握
- ▶ 中小企業による研究開発の成果を保健所・保健センターを通じて普及

- ▶ 左記のニーズを大学研究室、中小企業とマッチング  
(試作発注や技術を府内中小企業へ)
- ▶ 試作発注や京都企業の技術力を活かした商品開発等を推進

※ センター支所の活動を通じ、けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)のプロジェクトに活用



# クール京都事業

## 「クール京都」をキーワードに攻めの伝統産業対策を展開

### 新 クール京都事業費

新たな生活文化を提案する「クール京都」製品の市場開拓を支援する専門部会を主体に、「琳派400年」を活かした売れる伝統工芸品づくりや、国内外の市場開拓を支援

#### 新「クール京都」国内市場開拓支援事業費

⑲当初 140百万円 ⑳2月 112百万円

- 「大琳派祭」の開催等を通じ府内一円でクール京都製品等の販売促進を実施
- 「京もの祭」の開催、首都圏における販路開拓イベント等を支援

#### 新「クール京都」海外展開事業費

⑳2月 15百万円

- 海外に店舗や販路を持つ企業と連携し、海外販路開拓を目指す事業者を支援
- 海外のプロデューサーやデザイナーによる目利きやアドバイスの実施

#### 「琳派」商品開発支援事業費

⑲当初 30百万円

- マーケットクリエイター等とのコラボによる商品開発の支援



# 商店街活性化支援事業

## 空き店舗の有効活用に向けた新たなシステムを構築

### 新 300商店街活性化支援事業費

⑳当初 212百万円

- 府内の約300商店街のうち専任の事務局が設置されている商店街は一割弱  
→事務局機能をフォローする官民共同による「商店街創生センター(仮称)」を設置

### 新 商店街創生センター(仮称)創設事業費

⑳当初 16百万円

→ 戦略の実行部隊 = 商店連盟等支援機関と連携し「商店街創生センター(仮称)」を創設

- (センターの機能)
- ① 現状をしっかりと分析し必要な対策に繋げる「商店街カルテ」の導入
  - ② 空き店舗と開業希望者のマッチング支援
  - ③ 効果的な販売戦略、まちづくりの展開 等

### 新 商店街「店揃え」推進事業費

⑳当初 4百万円

→ 出店希望者と空き店舗のマッチングの実施  
→ 「借上げ」→「改修」→「貸付」の仕組みづくりに着手

センター  
新設

### 新 免税ステーション整備事業費

⑳当初 25百万円

→ ICTを活用した「免税販売ステーション」の整備



# 農業フロンティア事業

## 借りたい人に農地が届いていない現状を打破する

**新** 農業フロンティア事業費

⑳当初 588百万円

### 農地集積事業の現状・課題

借受希望のニーズに対して貸出農地が不足 → 借受希望面積の約10%の配分に止まる

農地の掘り起し・マッチング＋規模拡大・6次産業化の一気通貫支援が必要

### 京都府農業農村創生センター(仮称)の設置 (推進体制の強化)

→ 農地中間管理機構・農業会議・府・市町村が協働して取組を加速化

センター  
新設

### 農地の出し手対策 (農地の掘り起こし強化)

→ 現地に入り農地の掘り起こしを行う駐在員を増員 (3名 → 5名)

→ 借受希望者とのマッチングを行う市町村コーディネーターの設置支援

### 農地の受け手対策 (マッチング後の経営支援強化)

→ 5 ha以上(小規模農業法人等は経営面積の20%以上)などの農地集積を要件に  
販路開拓や機械整備等を支援





# 丹後10次産業化拠点づくり事業

## 丹後王国「食のみやこ」のオープン

丹後あじわいの郷



新 丹後王国「食のみやこ」

H27年4月  
オープン

㊴当初 10百万円 ㊵2月 100百万円

リニューア  
ルの考  
え方

- ① 丹後の本物の食を味わう拠点
- ② 丹後食材の調理・加工・販売・観光の人材育成拠点
- ③ 丹後観光のゲートウェイ

10次産業化拠点

丹後食  
材を  
味  
わ  
う  
拠  
点  
+  
人  
材  
育  
成  
拠  
点

生鮮産直市場

丹後の農産物・魚介類を食べる、買える、楽しめる市場

buffetレストラン

丹後産の和牛の熟成肉ステーキ

漬け物館

丹後野菜のへしこ、丹後の魚漬物

和カフェ

京丹後茶や、和菓子、アイスクリーム

イタリアンレストラン

丹後の魚介類、野菜、乳製品を使ったパスタ・ピザ

丹後の食  
を堪能

丹後観  
光の  
ゲ  
ー  
ト  
ウ  
ェ  
イ

総合案内窓口

農漁業体験や観光地の総合情報発信拠点

牧舎・体験農園

搾乳・収穫体験、週末農業

宿泊施設

外国人宿泊もターゲットに内装を改修

体験観光  
を堪能



「海の京都博(仮称)」に合わせ「丹後王国食の祭り」  
を丹後王国「食のみやこ」で同時開催

**(未来創生)**

# **交流基盤づくり対策**



# 地域交流基盤整備促進事業

## 交通インフラ・府民利用施設など交流基盤の整備促進

公共投資(工事発注)は前年並みの1,130億円を確保

交通  
イン  
フラ  
等

基幹道路整備の促進 ⑳当初 3,185百万円

→ 野田川大宮道路整備(H28年度供用予定)、新名神八幡インターアクセス道路の整備促進

JR奈良線複線化・高速化整備事業費 ⑳当初 275百万円

→ 環境アセスメントの最終年、H28年度の工事着工を目指す

北近畿タンゴ鉄道支援費 ⑳当初 346百万円 ㉑2月 87百万円

→ 経営の上下分離方式がスタート、タンゴ・ディスカバリー号をデザイン車両化

京都舞鶴港日本海側拠点機能推進費 ⑳当初 726百万円

→ 貨物船の2隻同時着岸に向け国際ふ頭の岸壁延伸、多目的クレーン整備着手

府民  
交流  
施設

新総合資料館(仮称)整備費 ⑳当初 6,595百万円

→ 国宝、重要文化財の展示ギャラリー等を備え、H28年10月オープン予定

運転免許更新センター及び地域防犯ステーション整備等事業費 ⑳当初 750百万円

→ H28年春に免許更新が京都駅前で可能に！

植物園魅力向上基盤整備費 ⑳当初 38百万円

→ 2カ所目のボタニカルウィンドウの整備や正門のリニューアル整備等に着手

丹後歴史文化博物館(仮称)基本計画策定費 ⑳当初 10百万円

→ 丹後郷土資料館の抜本的なリニューアルに向け基本計画の策定に着手

**(新「明日の京都」)**

**府民安心の再構築**



# 地震・防災対策

## 南海トラフ地震等に備えた防災拠点等の耐震化を強化

### 防災拠点施設等の耐震化

⑳当初 4,730百万円

340億円規模 前年より大幅増  
(連年災緊急対策事業を含む)

#### ● 府立学校等の耐震化

- 田辺高校等15校の耐震化に新規着手（府立学校全棟の耐震化に着手）
- 私立学校・幼稚園施設の耐震補強工事を支援

#### ● 災害拠点病院の耐震化

- 第二岡本病院、京都ルネス病院の耐震化を支援（災害拠点病院の耐震化の完了）

#### ● 緊急輸送道路の橋りょう耐震化

- 新綾部大橋の耐震補強等（緊急輸送道路の橋りょう耐震化の完了）

#### ● 水道施設の耐震化

- 府営水道の耐震化（乙訓浄水場、宇治系送水管）、工業用水道の耐震化等

### 新 旅館・ホテル等耐震化緊急支援事業費

㉑当初 55百万円

- 府内の中規模旅館・ホテル等の耐震診断、耐震設計、耐震改修を支援

### 新 保安林等機能強化事業費

㉑当初 146百万円

- 立木が密集し危険度が高い保安林を集中的に整備（㉑～㉒）

### 急傾斜地崩壊対策事業費

㉑当初 628百万円

- 急傾斜地の崩壊を防止するための擁壁等急傾斜地崩壊防止施設の整備



# 高齢者医療・介護強化対策

本格的な高齢社会に備え、  
医療・介護サービスの提供体制を大幅に充実・強化

## 新 高齢者医療・介護特別強化事業費

総額約19億円

### 京都市域包括ケアシステムの強化

⑳当初 867百万円

- 認知症高齢者が5人に1人となる社会に備え、認知症「京都総合戦略」を展開
- 3年間で介護・福祉人材7,000人確保
- 在宅復帰を支援する先端ロボットリハを府立医大に導入

### 医療・介護・福祉の連携推進

⑳当初 460百万円

- ICTを活用した共通診察券を導入し、病院、かかりつけ医、介護事業所等の安心ネットワークを構築

### 保険料負担の軽減

⑳当初 268百万円

- 低所得者の介護保険料負担を軽減

### 未病改善・予防対策の推進

⑳当初 292百万円

- 未病改善センターの創設で高齢者の健康増進を充実

**(新「明日の京都」)**

**地域共生の実現**



# 子どもの貧困対策事業

## 学校に関係機関の連携支援体制（プラットフォーム）を整備

### 新 子ども貧困対策プラットフォーム事業費

⑳当初 119百万円

チーム  
一丸で支援

→ 困難な家庭環境にある児童・生徒に対しプラットフォームのメンバーがチームを結成し、一丸となって対処

学校にプラットフォームを整備し、ワンストップで子どもの「①学習」と「②生活」を支援

→ 児童相談所、社会福祉協議会、民生委員、学校、NPO等の関係機関が連携

### 新 子どもの学習・生活習慣確立支援事業費

㉑当初 57百万円

#### （学習支援）

##### ● 小学生個別補充学習実施事業費 等

→ 小学5年生（小4の診断テスト結果を受けて）への補充学習の実施

#### （生活支援）

##### ● ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業費 等

→ 気軽に交流できる居場所を提供し、子ども同士の日常的な交流を図る

※ 上記のほか「まなび・生活アドバイザー」や「ひとり親家庭福祉資金」などを活用





# 女性の活躍支援

## 「地域でも」「職場でも」全ての女性の活躍を支援

### 女性の輝き応援事業費

㉓当初 77百万円 ㉔2月 88百万円

全ての  
女性を支援

#### 地域で輝きたい女性

- ① 女性の活躍を応援するプラットフォームづくりを支援
- ② 「輝く女性応援補助金」の創設（地域活動や起業へのスキルアップなど幅広く支援）

#### 職場で輝きたい女性

- ③ 女性起業家の支援拡充（アントプレ-賞 + 経営支援 = トータルサポート）
- ④ 「輝く女性応援補助金」の創設（異業種交流やキャリアアップなど幅広く支援）
- ⑤ 中小企業の女性活躍のための人材育成（女性活躍計画策定支援）



# 障害者の雇用と社会参加の促進

## 障害者の雇用促進・文化芸術振興の体制整備

### 新 障害者雇用率2.2%推進強化事業費

⑳当初 447百万円

短期型 選択方式  
で柔軟性を向上

- 障害者の特性に応じた選択制の訓練を新設  
→ 高等技術専門校で新設するJPカレッジ障害者コースを実施（ビジネスマナー等）
- 障害者雇用企業サポートセンターを設置し企業側の課題解決を支援  
→ 京都ジョブパークに相談窓口を設置  
→ 「障害者雇用施設整備助成金」で受入企業のハード整備を支援

### 障害者文化芸術推進事業費

㉑2月 30百万円

オール京都体制

### 新 「きょうと障害者文化芸術推進機構」設置費

- 大学、福祉事業者、企業、美術館、市町村等のオール京都体制の構築
- 芸術展やイベントの企画・運営を実施（京都市内に事務局を設置）

### 新 「地域アート展」開催支援事業費

- ギャラリーや商店街の空き店舗等でのアート展の開催を支援（補助率1/2）

**(新「明日の京都」)**

**京都力の発揮**



# スマート・エネルギー対策

## 総合エネルギー・マネジメントと 再生可能エネルギーの活用で地球温暖化対策を推進

### 新 京都EMS推進事業費

⑳当初 1,421百万円

#### ● 京都産業EMS推進のための協議会を設置

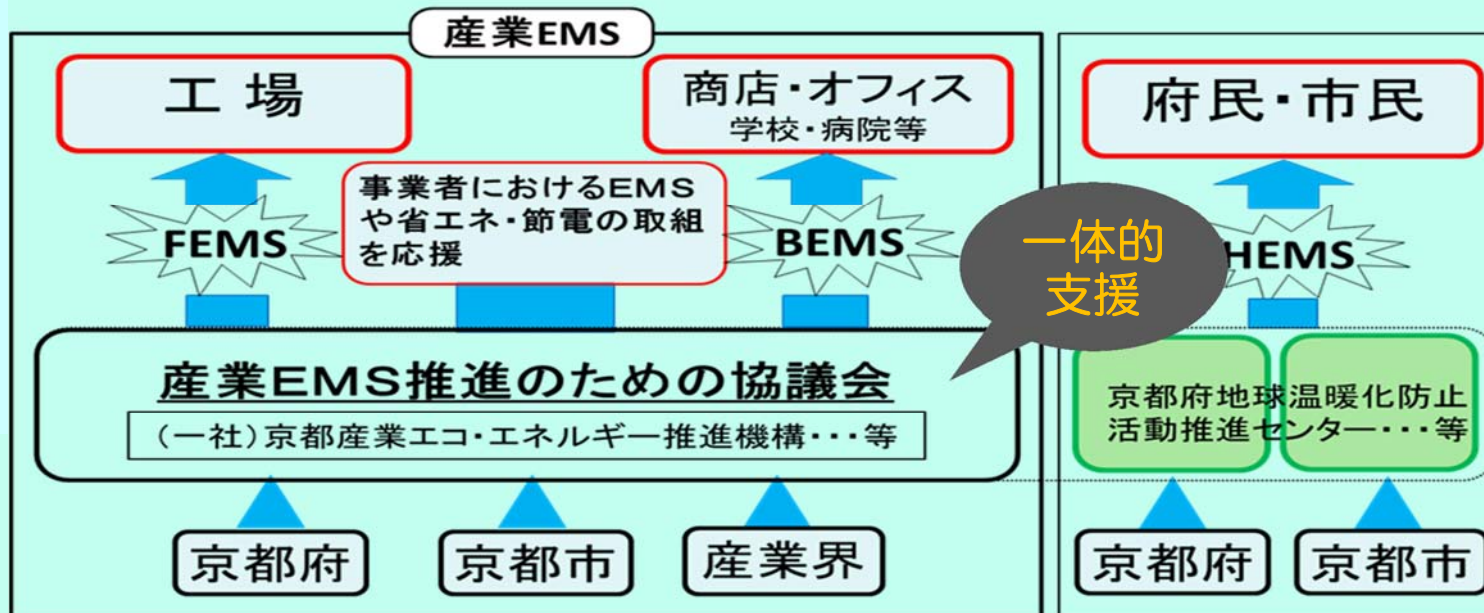
→ 省エネ機器導入支援とBEMS・FEMS・HEMSの一体的導入に  
インセンティブを設定（省エネ・節電支援の総合的实施）

同時導入に  
インセンティブ

「BEMS・FEMS補助金」と「京-VER補助金」を併用  
「HEMS補助金」と「太陽光発電等の融資」を併用



補助率  
10%加算



一体的  
支援

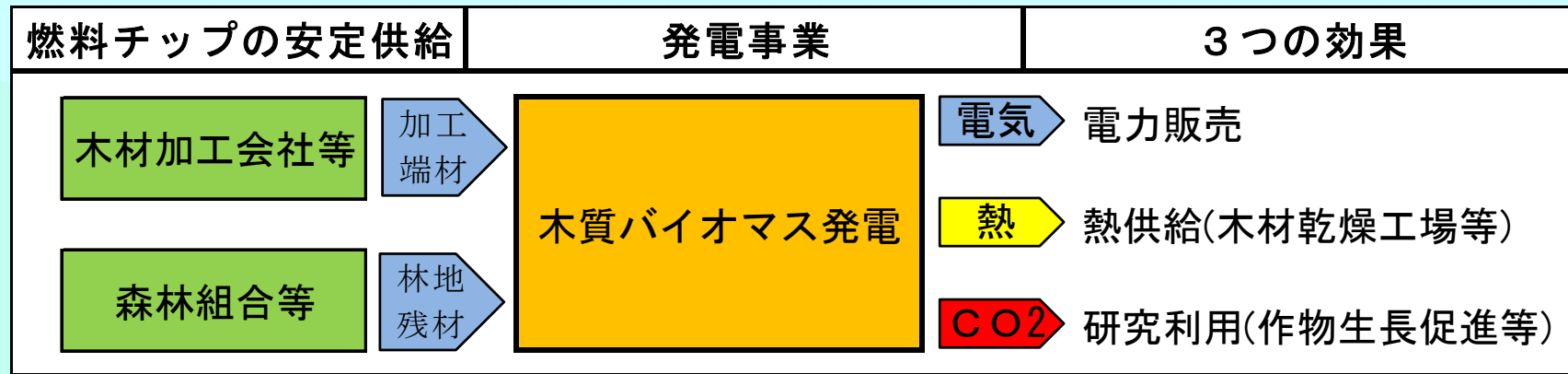


# エネルギー自給の京都の推進

## 新 木質バイオマス発電構想策定費

⑳当初 5百万円

- 加工端材等を活用した木質バイオマス発電の実現化構想の策定



## 新 メタンハイドレート開発促進調査事業費

⑳当初 10百万円

- 京都府沖におけるメタンハイドレートの開発を促進するための調査を実施

### 【調査内容】

- 国調査を踏まえた京都府沖における表層型メタンハイドレートの存在状況の把握
- 府内大学・研究機関や企業の知識・技術等の資源開発への活用方法 等

そ の 他



# 府民満足最大化・京都力結集プランの取組

## 持続可能な財政構造の確立

取組額 約103億円

### ① 人件費の抑制 ▲15億円

- ▶ 職員の若返り効果に伴う減

### ② 府民ニーズに即した事業の見直し ▲76億円

- ▶ 事業効果・点検等を踏まえた事務事業の見直し
  - ・事業の廃止、休止 ▲51億円
  - ・事業の経費削減 ▲23億円
- ▶ 公営企業の経営改善等 ▲2億円

### ③ 歳入確保の取組 12億円

- ▶ 未利用地の売却 0.5億円
- ▶ 税収の確保 11.5億円

### ※ 府債発行額の縮減 ▲109億円

## 京都力結集によるワンストップ化の推進

- ① きょうと未病改善センター(仮称)の設置
- ② エコノミック・ガーデニング推進センター(仮称)の設置
- ③ 商店街創生センター(仮称)の設置
- ④ 農業農村創生センター(仮称)の設置
- ⑤ 子どもの貧困にチームで対応するプラットフォームの整備
- ⑥ きょうと障害者文化芸術推進機構の設置
- ⑦ 保健環境研究所(府)と衛生環境研究所(京都市)との施設共同化(設計費) 等